

中野 寛之 議員



一問一答方式

- ① 既存堤防の点検
- ② 文化財観光施設の活用
- ③ 各種審議会委員の構成
- ④ 子育て支援

既存堤防の点検について

問 昨年の豪雨の際、肱南地区の大洲城下流に位置する肱川左岸堤防において、増水した肱川からの漏水で堤防の地中が破壊されるパイピング現象が起きた。この現場の堤防とほぼ同時期に整備された肱南地区と肱北地区から若宮地区にかけての堤防は、水が通りやすい礫質土の地層が存在する可能性が高いのではないか。市としては国に対し、さらなる点検、調査の要望を行う必要がある

ると考えるが、理事者の見解をお聞きする。

答 肱北地区の堤防はパイピングの発生も懸念されるため、洪水時の巡視や定期的な点検及び日常的なパトロールを行い、安全管理に努めると伺っています。

また、肱北地区の肱川橋から畑の前橋にかけての肱川堤防は、堤体漏水等が懸念される区間として、国の重要水防箇所指定されています。

市としては、洪水時には消防団による巡視なども行い、水防活動を迅速に行える体制を整えています。国に対しても異常発見や重要状況発生時の迅速な対応を要請するとともに、既存堤防の浸透に対する点検、調査の要請を行い、情報共有や事業推進等の協力、連携を図る考えです。

文化財観光施設の活用について

問 市民の財産でもある文化財を将来の人口減少に備えて持続可能な手法で保全、保護をしていくためにも、観光としての積極活用が必要であると感じている。初めての取り組みでもあり、いろんな誤解をされ

ている市民も多いと思う。私もそういう否定的な意見があることは承知しているが、事業の詳しい話を聞けば、なかなかおもしろいのではないかと言われる方も確実におられると思う。であるからこそ、丁寧な説明や広報を行っていくべきと思うが、理事者の見解をお聞きする。

答 このような試みは本市でも初めてのチャレンジであり、全国的にも生きた歴史体験プログラムとして文化庁において緒についたばかりであることから、市民の皆様に対し丁寧な説明と広報が必要と考えています。

先般の検討委員会においては、実現に向けた方向性が決定されましたので、今後市民の皆様をはじめ、関係者の皆様にも具体的な趣旨や内容等を周知していきたいと考えており、早速、先日の自治会連絡会議で説明させていただきました。

また、8月には歴史的資源を活用した観光まちづくりのシンポジウムを開催し、市民の皆様にも広く説明させていただきたいとも考えております。

各種審議会委員の構成について

問 大洲市男女共同参画推進計画では、審議会等の女性登用率を引き上げるとの数値目標を掲げているが、数値はやや伸び悩んでいるようである。また、若年層の登用においては、ほとんどいないのが実態だと思われる。

例えば、充て職である場合でもその団体の長にこだわらず、団体の中から適切と思われる方を送り込んでもらえるよう、その団体に対して働きかけることもできるのではないのか。

答 団体からの多様な人材の選出については、団体の長への充て職の委任が多い状況ですが、一部では団体側から推薦をいただく方法をとっているケースもあります。

しかし、団体を代表しての選出となると、男性が参画される場合が多くなってしまう。今後、団体から推薦いただく場合には、できるだけ幅広い人材の中から新しい若い人材や女性を推薦いただくよう努めたいと考えています。